さいたま市立内谷中学校

白いノート

教育目標　・進んで学ぶ　・心豊か　・たくましく

令和５年１１月１日　　さわやか相談室　℡ 048-865-7573

〒336-0034　さいたま市南区内谷 6-10-1　℡ 048-861-7571　http://uchiya-j.saitama-city.ed.jp

できることを

校長　髙山　俊介

１０月の中旬を過ぎ、ようやく朝晩の涼しさに秋を感じるようになった頃、道を歩いていると、どこからともなく金木犀（キンモクセイ）の甘い香りが鼻をくすぐりました。文化的な全校行事である合唱祭の感動が冷めやらぬ中、１０月は、市新人体育大会・体育祭・市駅伝競走大会と大きな体育的行事が目白押しでした。

裏面の「表彰の結果」にあるように選手たちの努力の賜物として、多くの種目で記録に残る結果が得られました。あわせて、どの部活動でも記憶に残る挑戦が見られ、大会に出場した選手はもとより多くの生徒の成長を感じる機会となりました。その中でも特筆すべきは、市新人体育大会におけるサッカー部の優勝です。埼玉には、今から約１００年前の明治４１年６月に、埼玉師範学校（現在の埼玉大学教育学部）の教諭が蹴球部をつくったことにより始まったというサッカーの歴史があります。浦和区にある市役所は、その埼玉師範学校跡地であり、正に埼玉のサッカー発祥の地といえます。そして、内谷中学校開校以来の初優勝、各ポジションの選手たち・部活動に取り組む全部員の融合による力の発揮には、感慨深いものがあります。

また、合唱祭同様、開催までの短期間に体育祭実行委員（体育委員）を中心に体育祭の準備・練習等に取り組みました。その他、生徒会本部や各委員会の体育祭運営に関する係などの貢献に加え、約７０人の生徒ボランティアが校庭の環境整備をしたり、各クラスの有志が想いをこめて応援旗を作成したりしました。その甲斐あって当日は、生徒主役の入場行進・校歌斉唱・演技・競技・係活動での全力を尽くす姿が観る者を魅了しました。

さらに市駅伝競走大会。駅伝は日本発祥の競技で、たすきをつなぎ一人では走り切れないような距離を、前のランナーの頑張り・魂をつなぐというレース形式です。お正月の箱根駅伝は毎年見入って感動しています。長い距離を走り続けることは、つらく厳しいことであり、多くの人が体感していることでしょう。その長距離を粘り強く速く走ることができるという能力をもっている約４０人が、暑い時期から計画的に自分を鍛えるために、朝練習を重ねて、駅伝部というチームとなって学校を代表して大会に臨みました。（詳細裏面）

できることを精一杯行った生徒達に南米アンデス地方の先住民に伝わる話を送ります。

＜ハチドリのひとしずく＞

森が、燃えていました。森の生き物たちは、われ先にと逃げていきます。
でも、クリキンディという名のハチドリだけは、行ったり、来たり。
口ばしで水のしずくを一滴ずつ運んでは、火の上に落としていきます。
動物たちは、それを見て「そんなことして、いったい何になるんだ。」と笑います。
クリキンディは、こう答えました。
「私は、私にできることをしているだけ。」